



凹面装具の選択とQOLの関連性

ストーマ造設術後に身体機能が変化し、ストーマを保有した新しい生活に適応していくには、身体的にも精神的にも多くの負担を伴います。また、漏れや皮膚障害への不安は、睡眠障害や社会生活、運動を避けるなど、ストーマ保有者の健康状態に関連するQOLに大きな影響を与えることとなります¹⁾。そのため、腹壁の形状に応じた適切な装具を選択し、漏れやストーマ周囲の皮膚障害のリスクを軽減させることが大切です。

ストーマ周囲が「ふくらんでいる」ストーマ保有者のニーズ

腹壁が「ふくらんでいる」ストーマ保有者は、自分のストーマ装具が目立っているのではないかという不安を抱えています。また面板の密着性を確保するために、アクセサリーを使用するなど様々な工夫をしています。「ふくらんでいる」ストーマ保有者は、ストーマ周囲が「平らである」ストーマ保有者と比べて、肥満または高度肥満の傾向があります¹⁾。

「ふくらんでいる」ストーマ保有者についてデータが示すこと

ストーマ周囲における3種類の体形的特徴 (ボディプロフィール)

平らである： ストーマ周囲が平坦な状態	へこんでいる： ストーマ周囲がへこんでいる状態	ふくらんでいる： ストーマ周囲の皮膚がふくらんでいる状態
------------------------	----------------------------	---------------------------------



39%



「高確率または極めて高確率」で漏れを心配している

44%



ストーマ装具が衣服から目立つ経験をしている

84%



ストーマの高さがある

64%

60歳を超えている

57%

男性である

74%



肥満または高度肥満

63%

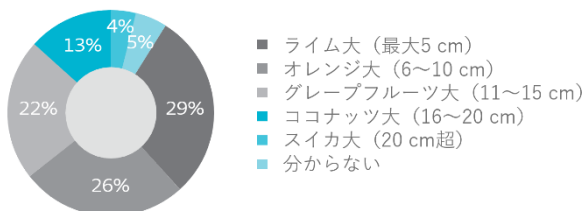
ふくらんでいる腹壁によりストーマ装具が目立つ

56%

単品系装具を使用している

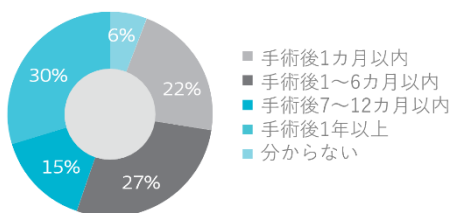
ストーマ周囲のボディプロフィールが「ふくらんでいる」ストーマ保有者では、ストーマ周囲のふくらみは5cmから20cmまでさまざまです(図1)。

図1：ストーマ周囲のふくらみ方



ストーマ周囲のふくらみは手術後から形成されます。手術後6か月以内の約50%の方にストーマ周囲のふくらみを認めました。約30%の方は手術後1年以上経過した時期にストーマ周囲のふくらみを認めました(図2)。

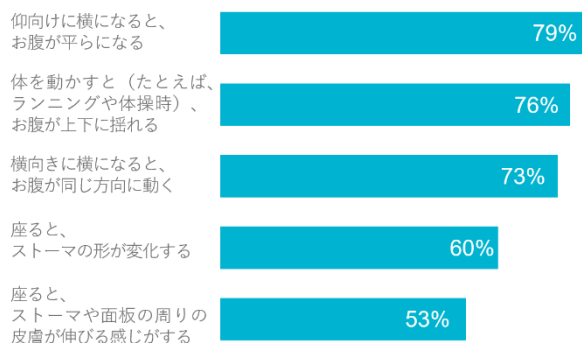
図2：ストーマ周囲のふくらみを認めた時期



「ふくらんでいる」腹壁の場合、体の動きに伴う違和感があります(図3)。

- ・姿勢を変えるとストーマの形が変化する
- ・体を動かすとお腹が上下に揺れたり、横たわるとお腹が片側に動く
- ・座ると皮膚が伸びる経験をしている

図3：「少しそう思う」から「非常にそう思う」までの割合(%)



「ふくらんでいる」腹壁を持つストーマ保有者への装具選択

多くの場合、「ふくらんでいる」腹壁を持つストーマ保有者にとって、密着性の高いストーマ装具を選択することがQOLを維持するために重要な課題となります。しかし、ストーマ周囲のふくらみは複雑であり、ストーマ近接部の密着性が確保できても、外周部にしわが寄るなどして追従しないことがあります。

星型の立体的な面板である凹面装具は、近接部から外周部にかけてしっかりと密着するように設計されています。「ふくらんでいる」腹壁を持つストーマ保有者に対しては、以下の点に注意しながら適切に凹面装具を選択し、QOLを維持することが重要です。

1. 粘膜は、体位にかかわらず一定のストーマの高さを保持しているか
2. 粘膜・皮膚接合部は、体位にかかわらずストーマの形状に大きな変化がないか
3. ストーマ周囲皮膚は、体位にかかわらず装具装着のための一定平面が確保できているか

穴澤貞夫・大村裕子編著：ストーマ装具選択ガイドブックー適切な装具の使い方ー，金原出版株式会社，2012.

「ふくらんでいる」腹壁の多くが、ストーマ造設手術後の晩期合併症の一つである傍ストーマヘルニアであることが明らかにされており、術式やストーマの種類に応じて11~60%の割合で発生すると言われてています¹⁾。そのような腹壁を持つストーマ保有者は日常生活の中で多くの不安を抱えており、「ふくらんでいる」腹壁の状態を様々な視点からアセスメントし、確実な密着性が確保できる適切な装具を選択していくことが大切です。

詳しい情報は別冊の医療情報誌に掲載しておりますので、営業担当者にお問い合わせください。

- センシュラ ミオ コンケープの使用症例については、弊社ケースレポートVol.4、5、8をご参考ください。
- 本記事に掲載されているデータはOstomy Life Study 2016/17の冊子より抜粋しております。

1) コロプラストOstomy Life Study 2016/17年 社内資料